

# SHARP®

インストールをする

ワイヤレス環境で使う

メモリーカードで使う

困ったときは

PG-M25X用ソフトウェア

## Wireless Reality取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ご使用になる前に、必ず使用許諾契約をご覧ください。

For Windows

# はじめに

シャーププロジェクター用ソフトウェア「Wireless Reality」は、コンピュータからプロジェクターへ画像をワイヤレス送信したり、メモリーカードにスライドショーファイルを保存してプロジェクターとメモリーカードだけでプレゼンテーションするなど、より効果的なプレゼンテーションを可能にします。

このパッケージには、次のソフトウェアが含まれています。

## ■Image Transfer

コンピュータの画面や画像ファイルのプロジェクターへワイヤレス送信し、表示させるソフトウェアです。

## ■Network Selector

コンピュータをワイヤレス環境で使用するための設定を、一括で変更するソフトウェアです。

## ■Sharp wireless LAN Card Driver

ワイヤレスLAN PCカード(AN-WC11B)用のドライバーソフトウェアです。

## ■Slide Manager

スライドショーファイルを作成したり、作成したファイルをメモリーカードに書き込んだりするためのソフトウェアです。スライドショーのファイルが保存されたメモリーカードをプロジェクターに挿入することにより、自動的にスライドショー再生を行うことができます。

プロジェクターとメモリーカードだけでプレゼンテーションを行うときに使います。

## ■Virtual Printer

PowerPointなど各種アプリケーションのデータファイルを、画像ファイルに変換するソフトウェアです。

### メモ

- このソフトウェアは、PG-M25Xに対応しています。
- ワイヤレスLAN PCカードは、当社製AN-WC11B(および同梱のRUNTKA025WJZZ)のみ動作を確認しています。

この取扱説明書はWindowsとマウスの使いかたを理解されているお客様を対象に書かれています。Windowsについての不明な点は、Microsoft社の各OSの取扱説明書をご覧ください。

- この取扱説明書は、Windows XP クラシック表示をベースに説明しています。  
Windows XPをご使用の場合は、クラシック表示に切り換えてご使用ください。切り換えかたは、スタートアップ画面でコントロールパネルを選んで設定してください。詳しくは、Windows XPの取扱説明書をご覧ください。

AN-WC11Bの詳細については、CD-ROM内PDFの「AN-WC11B」取扱説明書をご覧ください。このソフトウェアの仕様は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- Acrobat、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporatedの登録商標または商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
- 本書に記載されている事柄は、ご使用のコンピュータの環境により異なる場合があります。またコンピュータの動作環境や処理能力によっては、動作が遅くなる場合があります。

# もくじ

はじめに	2
もくじ	3
<b>インストールをする</b>	
必要なハードウェア・ソフトウェア	4
インストールをする	5
ソフトウェアを変更・削除する	16
<b>ワイヤレス環境で使う</b>	
ワイヤレスの設定をする(Network Selector)	18
1. 起動と終了	18
2. 画面の説明	19
3. かんたんにワイヤレスLAN接続する(クイック接続)	20
4. 新しいネットワーク設定を登録する	23
5. ネットワーク設定のしかた	25
6. プロファイルを編集する	26
7. プロファイルを削除する	27
画像をプロジェクターに送信する(Image Transfer)	28
1. 起動と終了	28
2. 画面の説明	31
3. リアルタイムで表示する	32
4. 静止画で表示する	33
5. 画像ファイルを表示する	34
6. 設定を変更する	38
<b>メモリーカードで使う</b>	
スライドショーを作成する(Slide Manager)	42
1. 起動と終了	42
2. プロパティを設定する	43
3. スライドショーファイルを作成する	45
4. 作成途中のファイルを保存する	50
5. スライドショーファイルをメモリーカードに保存する	51
ファイルを画像ファイルに変換する(Virtual Printer)	53
1. プロパティの設定をする	53
2. アプリケーションのファイルを画像ファイルに変換する	57
<b>困ったときは</b>	
困ったときは	58
お客様ご相談窓口のご案内	63
用語集	64
さくいん	66

# 必要なハードウェア・ソフトウェア

このソフトウェアを使うためには、次のハードウェアやソフトウェアが必要です。

- コンピュータ
  - 対応OS 以下の条件で正常に動作するもの  
Windows 98、98SE、Me、2000 Professional、  
XP Home Edition、XP Professional Edition(いずれ  
も日本語版および英語版)
  - CPU 動作クロック500MHz、PentiumⅢ以上を推奨
  - ディスプレイ 解像度1024×768ドット推奨  
同時発色数65,536色以上
  - メモリー 64MB以上(Windows 98、98SE、Meの場合)  
96MB以上(Windows 2000 Professionalの場合)  
160MB以上(Windows XP Home Edition、Professional Editionの場合)  
50MB以上
  - HDD空き容量 PCカードスロット(PCMCIA TYPEⅡ)
  - インターフェース
  - CD-ROMドライブ
  - その他 OSに、Internet Explorer4.01以降がインストールされて  
いること。
- ワイヤレスLAN PCカード PG-M25Xに同梱のカード、または別売の「AN-WC11B」  
に対応。

## 【注意】

自作機やマザーボードの変更などの改造を加えているコンピュータに関しては動作保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

# インストールをする

CD-ROMに入っているインストーラで、本ソフトウェアをインストールします。

## 【注意】

- 本ソフトウェアをネットワークに接続されているコンピュータにインストールするときは、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ワイヤレスLAN PCカードに触れる前に、あらかじめ水道の蛇口やドアノブ等の金属部分に触れ、体内の静電気を放電してください。

## インストールを始める前に

- 既に他の11Mbps(IEEE802.11b準拠)のワイヤレスLAN PCカードドライバソフトウェアをインストールしている場合は、それらのソフトウェアをアンインストールした後で、以下のインストール作業を行ってください。
- インストールの手順内で指示があるまでは、ワイヤレスLAN PCカードをコンピュータのPCカードスロットへ挿入しないでください。

### 1 インストールするコンピュータが本ソフトウェアに対応していることを確認します。

詳しくは、「[必要なハードウェア・ソフトウェア](#)」(4ページ)をご覧ください。

### 2 コンピュータの電源を「入」にします。

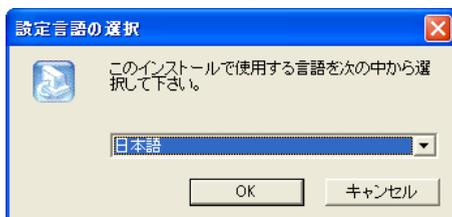
## 【メモ】

- 使用しているOSがWindows 2000もしくはWindows XPの場合、アドミニストレータ権限を持ったログイン名でログインしてください。

### 3 起動中の他のアプリケーションを終了させます。

### 4 本ソフトウェアのCD-ROMを、コンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

- 5 しばらくすると、設定言語の選択ダイアログが表示されますので、「日本語」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

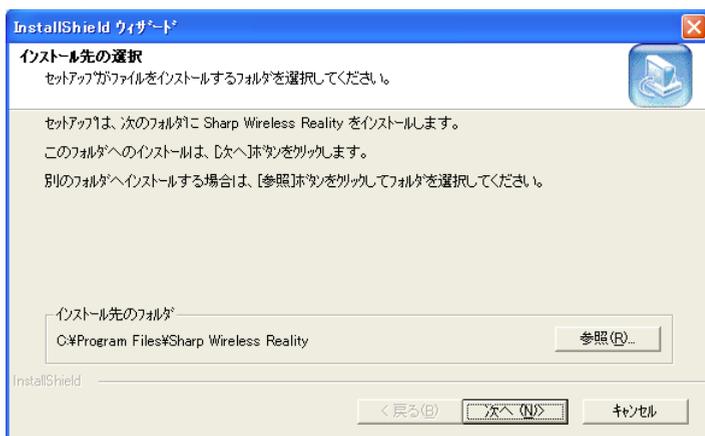


しばらく待っても画面が表示されないときは

- (1) 「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行...」を選びます。
- (2) 「R:¥software¥setup.exe」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。  
(CD-ROMドライブがRドライブ以外の場合は、そのドライブ名を入力してください。)



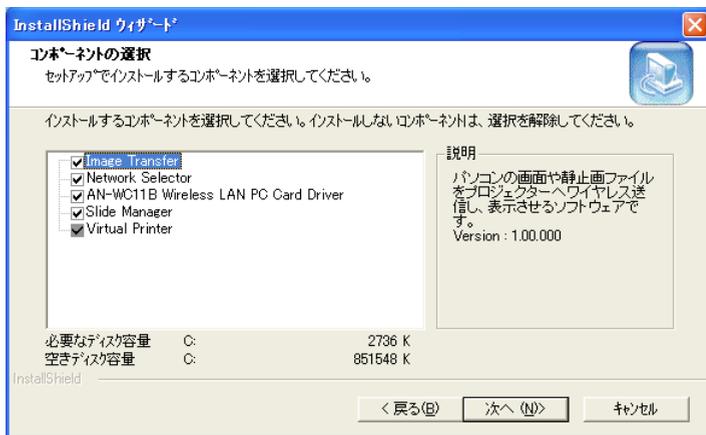
- 6 「インストール先の選択」ダイアログでインストール先を指定し、「次へ>」ボタンをクリックします。



**メモ**

- インストール先は必要な場合だけ変更してください。  
(通常は変更する必要はありません。)

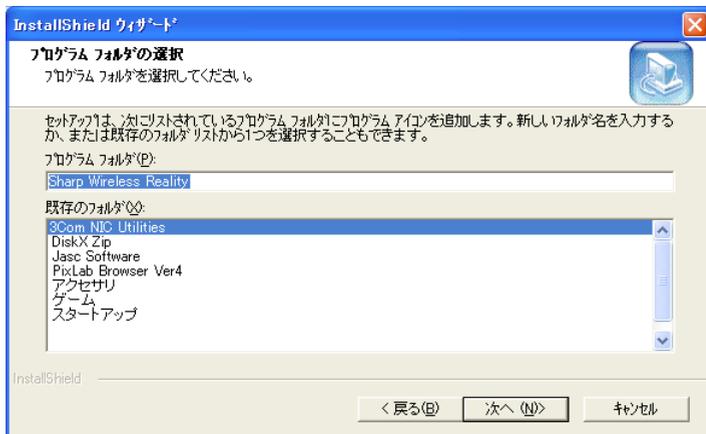
## 7 「コンポーネントの選択」ダイアログで、インストールするソフトウェアを選択し、「次へ>」ボタンをクリックします。



### メモ

- インストールするソフトウェアは必要な場合だけ変更してください。(通常は変更する必要はありません。)
- ツリーが表示されている一覧で、ソフトウェアの名称をクリックすると、簡単な説明が表示されます。

## 8 「プログラムフォルダの選択」ダイアログで、プログラムフォルダを指定し、「次へ >」ボタンをクリックします。



### メモ

- プログラムフォルダは必要な場合だけ変更してください。(通常は変更する必要はありません。)

- 9 Image Transferを、スタートアップに登録する場合は「はい」ボタンを、登録しない場合は「いいえ」ボタンをクリックします。



**メモ**

- スタートアップに登録すると、コンピュータを起動するごとに、「Image Transfer」が自動的に起動します。
- スタートアップに登録すると、デスクトップに「Image Transfer」のショートカットアイコンは作成されません。あとで作成する場合は、「[ショートカットヘドラッグ&ドロップして送信](#)」(35ページ)をご覧ください。

インストールが始まります。途中、OSによりデジタル署名またはロゴ認証の画面が表示されますが「はい」または「続行」のボタンをクリックしてください。

インストールが終了すると、「Install Shieldウィザードの完了」ダイアログが表示されます。

- 10 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して「完了」ボタンをクリックし、コンピュータを再起動します。



**メモ**

使用しているOSがWindows 2000もしくはWindows XPの場合は、再起動後は、手順2(5ページ)でログインしたときと同じログイン名でログインしてください。

以降の手順は使用しているOSによって異なります。

- Windows 98/Me → [9ページ](#)
- Windows 2000 → [10ページ](#)
- Windows XP → [11ページ](#)

## Windows 98/Me で使用する場合

- 11** ワイヤレスLAN PCカードをコンピュータのPCカードスロットへ挿入します。

### 【注意】

- ワイヤレスLAN PCカードは、コンピュータが完全に起動するまで（砂時計表示が消えるまで）挿入しないでください。
- 裏と表を逆に挿入しないでください。無理に挿入するとコネクタが破損し、ワイヤレスLAN PCカードが使用できなくなる可能性があります。

### 【メモ】

ご使用のコンピュータによってPCカードスロットの位置が異なります。詳しくは、ご使用のコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- 12** 次の画面が表示され、ワイヤレスLAN PCカードドライバースoftwareがインストールされますので、しばらくお待ちください。



- タスクトレイに「ワイヤレスLAN用の設定ユーティリティ」が存在することを確認する



ワイヤレスLAN用の設定ユーティリティアイコン  
（アイコンの色は、電波の状況によって変わります。）

- このアイコンが表示されていないときは、正常にドライバーがインストールされていません。  
「ワイヤレスLAN PCカードAN-WC11Bのドライバーを再インストールするとき」(14ページ)でドライバーを削除したあと、再度インストールしてください。

- 13** 「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」→「PCカード」をダブルクリックします。

- 14** ソケットの1つに「Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card」があるかどうか確認します。

**15**「コントロールパネル」→「システム」をダブルクリックします。

**16**「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

- 「Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card」があれば、インストールは終了です。
- ワイヤレスLAN PCカード「Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card」のアイコンに黄色い「！」または「？」が付いている場合には、インストールに失敗している可能性があります。「[困ったときは](#)」(58ページ)をご覧ください。

## Windows 2000 で使用する場合

**11** ワイヤレスLAN PCカードをコンピュータのPCカードスロットへ挿入します。

### 注意

- ワイヤレスLAN PCカードは、コンピュータが完全に起動するまで（砂時計表示が消えるまで）挿入しないでください。
- 裏と表を逆に挿入しないでください。無理に挿入するとコネクタが破損し、ワイヤレスLAN PCカードが使用できなくなる可能性があります。

### メモ

ご使用のコンピュータによってPCカードスロットの位置が異なります。詳しくは、ご使用のコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

**12** 次の画面が表示されますので、画面の指示にしたがった操作してください。



デジタル署名画面が表示されたときは、「はい」ボタンをクリックしてください。

## ■タスクトレイに「ワイヤレスLAN用の設定ユーティリティ」が存在することを確認する



ワイヤレスLAN用の設定ユーティリティアイコン  
(アイコンの色は、電波の状況によって変わります。)

- このアイコンが表示されていないときは、正常にドライバーがインストールされていません。  
「ワイヤレスLAN PCカードAN-WC11Bのドライバーを再インストールするとき」(14ページ)でドライバーを削除したあと、再度インストールしてください。

**13**「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

**14**「システム」をダブルクリックします。

**15**「ハードウェア」タブを選び、「デバイスマネージャ」をクリックします。

**16**「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

- 「Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card」があれば、インストールは終了です。
- ワイヤレスLAN PCカード「Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card」のアイコンに黄色い「！」または「？」が付いている場合には、インストールに失敗している可能性があります。「困ったときは」(58ページ)をご覧ください。

## Windows XP で使用する場合

**11**ワイヤレスLAN PCカードをコンピュータのPCカードスロットへ挿入します。

### 【注意】

- ワイヤレスLAN PCカードは、コンピュータが完全に起動するまで(砂時計表示が消えるまで)挿入しないでください。
- 裏と表を逆に挿入しないでください。無理に挿入するとコネクタが破損し、ワイヤレスLAN PCカードが使用できなくなる可能性があります。

### 【メモ】

ご使用のコンピュータによってPCカードスロットの位置が異なります。詳しくは、ご使用のコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- 12**次の画面が表示されますので、画面の指示にしたがい操作してください。  
ロゴ認証画面が表示されたときは、「続行」ボタンをクリックしてください。



- タスクトレイに「ワイヤレスLAN用の設定ユーティリティ」が存在することを確認する



ワイヤレスLAN用の設定ユーティリティアイコン  
(アイコンの色は、電波の状況によって変わります。)

- このアイコンが表示されていないときは、正常にドライバーがインストールされていません。  
「ワイヤレスLAN PCカードAN-WC11Bのドライバーを再インストールするとき」(14ページ)でドライバーを削除したあと、再度インストールしてください。

ワイヤレスLAN PCカードのLINKランプが点滅しているときは

- (1) タスクトレイの  (ワイヤレスネットワーク接続)アイコンをダブルクリックします。
- (2) 「SHARP\_PRJ」を選び、「接続」をクリックします。  
 アイコンが緑色になったことを確認します。LINKランプが点灯になります。

- 13**「スタート」ボタンから[コントロールパネル]をクリックします。

- 14**左側の「クラシック表示に切り替える」をクリックした後、右側の「システム」をダブルクリックします。

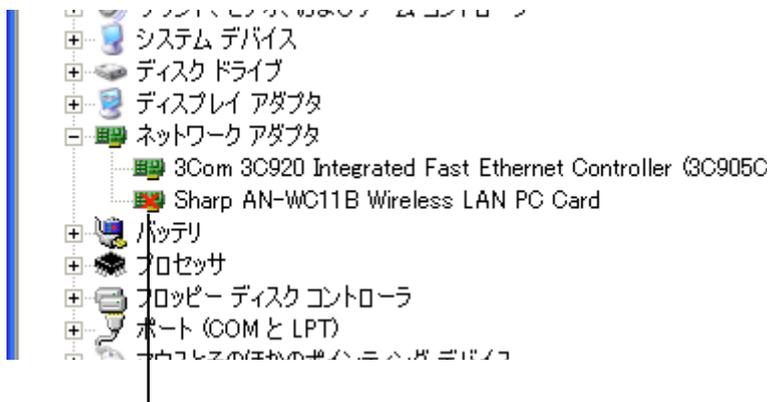
- 15**「ハードウェア」タブを選び、「デバイスマネージャ」をクリックします。

- 16**[ネットワークアダプタ]をダブルクリックします。

- 「Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card」があれば、インストールは終了です。
- ワイヤレスLAN PCカード「Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card」のアイコンに黄色い「！」または「？」が付いている場合には、インストールに失敗している可能性があります。「困ったときは」(58ページ)をご覧ください。

## 正常に動作していないときは

「Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card」のアイコンに「!」や「×」または「?」などのマークがある場合は、ワイヤレスLAN PCカードのドライバーに何らかの障害が発生しています。



何らかの障害が発生しています

障害の可能性としては、次のことが考えられます。

- 「Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card」が正常にインストールできていない。
- ほかのワイヤレスLAN PCカードがすでにインストールされている
- ほかのドライバーとリソースが競合している

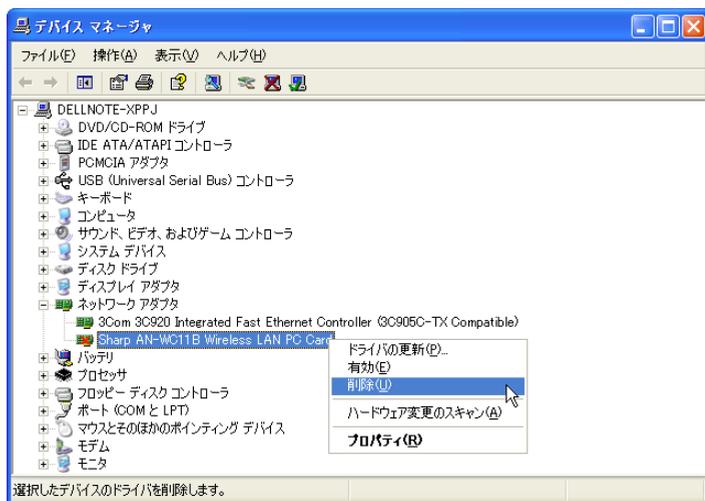
これらの場合は、一度「Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card」を削除したあと、再度インストールする必要があります。(14ページ)

また、ほかのワイヤレスLAN PCカードがすでにインストールされている場合は、そちらも削除する必要があります。

ほかのワイヤレスLAN PCカードの削除方法については、ご使用のワイヤレスLAN PCカードの取扱説明書をご覧ください。

■ワイヤレスLAN PCカードAN-WC11Bのドライバーを再インストールするとき  
再インストールするときは、「Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card」を削除してから、再インストールしてください。

- 1 コンピュータの「スタート」メニューをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。
- 2 「システム」をダブルクリックし、「ハードウェア」タブをクリックします。
- 3 「デバイスマネージャ」をクリックし、「ネットワークアダプタ」の「+」をクリックします。
- 4 「Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card」を選び、「削除」をクリックします。



- 5 「OK」ボタンをクリックします。



- 6** タスクトレイにPCカードアダプタのアイコンが消えたことを確認したあと、ワイヤレスLAN PCカードAN-WC11BをコンピュータのPCカードスロットから取り外します。



2つのアイコンが消えたことを確認してから取り外す

**メモ**

- OSによっては、ワイヤレスLAN PCカードのLINKランプが点灯した状態のままのときがありますが、問題はありません。

PCカードの取り外しかたについては、ご使用のコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- 7** ワイヤレスLAN PCカードAN-WC11Bのドライバーをアンインストールします。

アンインストールの方法については、「ソフトウェアを変更・削除する」(16ページ)をご覧ください。

- 8** コンピュータを再起動します。

- 9** ワイヤレスLAN PCカードAN-WC11Bのドライバーをインストールします。

インストールの方法については、「インストールをする」(5ページ)をご覧ください。

# ソフトウェアを変更・削除する

ソフトウェアをアンインストールしたり、追加でインストールしたりします。

## 1 起動中のすべてのアプリケーションを終了させます。

### メモ

Image Transferを終了するには、タスクトレイのプロジェクターアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから「終了」をクリックして、ソフトウェアを終了(31ページ)してから行ってください。

## 2 ワイヤレスLAN PCカードを、コンピュータから取り外します。

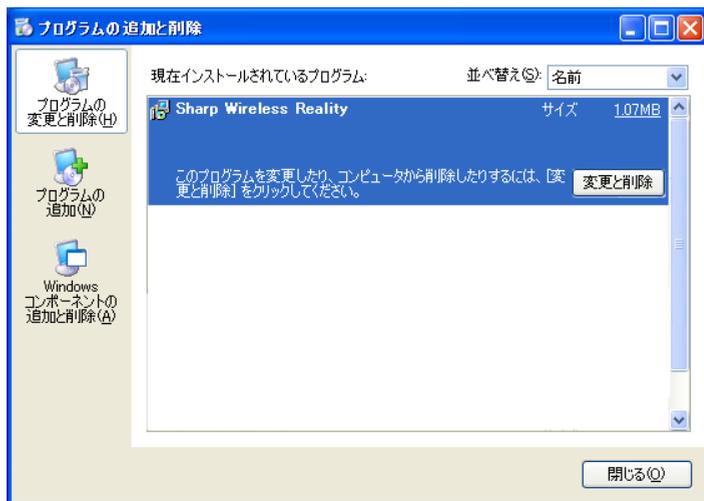
## 3 コンピュータの「スタート」メニューをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」を選択します。

OSがXPでご使用の場合、「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

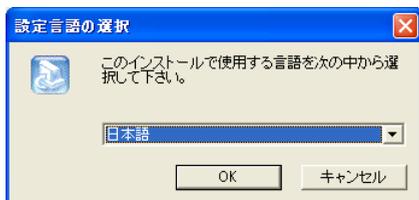
## 4 「プログラムの追加と削除」または「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。

### プログラムの追加と削除

## 5 「Sharp Wireless Reality」を選び、「変更と削除」ボタンをクリックします。



- 6 「設定言語の選択」ダイアログが表示されますので、「日本語」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。



- 7 「ようこそ」ダイアログが開きますので、「変更」「修正」「削除」のいずれかを選び、「次へ >」ボタンをクリックします。

#### ■「変更」

インストールしなかったソフトウェアを追加インストールするときや、一部のソフトウェアをアンインストールしたいときに選びます。「コンポーネントの選択」ダイアログが表示されるので、変更したいプログラムのチェックをつけたり外したりします。

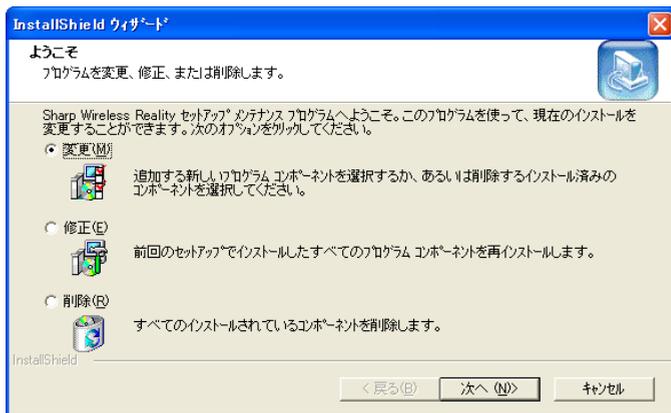
- →  追加
- →  削除

#### ■「修正」

すでにインストールしたソフトウェアを、再インストールしたいときに選びます。

#### ■「削除」

インストールされたソフトウェアを、すべてアンインストール(削除)したいときに選びます。



- 8 あとは画面の指示に従って操作します。

# ワイヤレスの設定をする(Network Selector)

プロジェクターとコンピュータがワイヤレスLANで通信するためには、それぞれにネットワーク設定が必要です。すでにワイヤレスネットワークを構築している場合は、Network Selectorを使ってコンピュータに装着したワイヤレスLAN PCカードの設定を素早く、かんたんに変更することができます。ネットワーク設定の知識がない方でも、かんたんにワイヤレス環境で使えるようにすることができます。

ワイヤレスネットワークをまだ構築していない場合は、特にNetwork Selectorを使う必要はありません。

## メモ

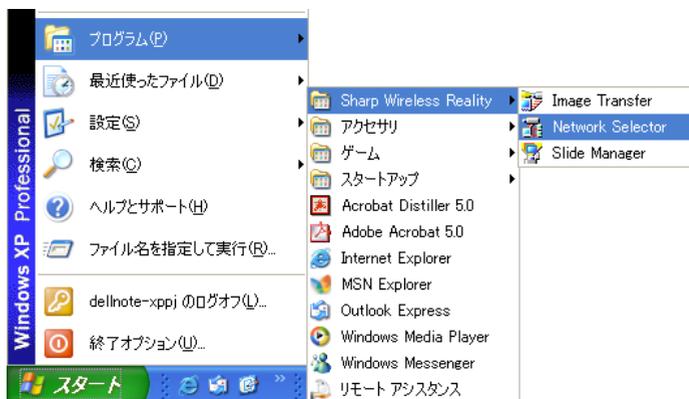
- すでにワイヤレスネットワークを構築している場合は、ネットワーク管理者に相談のうえ、このソフトウェアをご使用ください。
- このソフトウェアで設定できるのは、プロジェクターに同梱のワイヤレスLAN PCカード、または別売のシャープ製ワイヤレスLAN PCカード (AN-WC11B)のみです。AN-WC11B以外のワイヤレスLAN PCカードに関しては、このソフトウェアで設定することができません。

## 1. 起動と終了

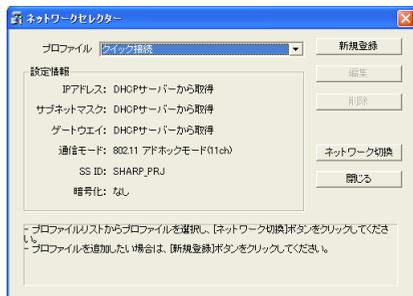
ここでは、Network Selectorの起動方法および終了方法を説明します。

### 起動のしかた

- 1 コンピュータの「スタート」メニューをクリックし、「プログラム」→「Sharp Wireless Reality」→「Network Selector」の順にクリックします。

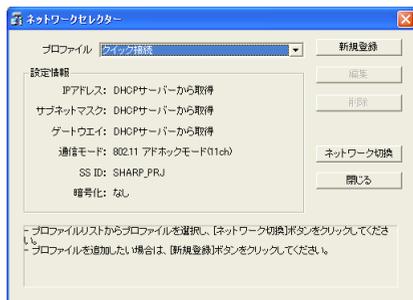


現在のネットワーク設定の起動画面が表示されます。



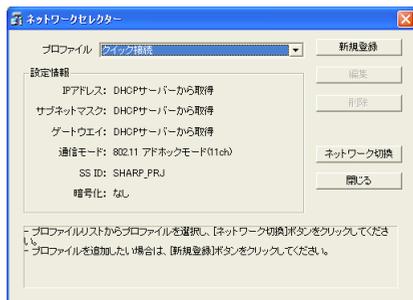
終了のしかた

- 1 起動画面で「閉じる」ボタンをクリックします。  
ソフトウェアを終了します。



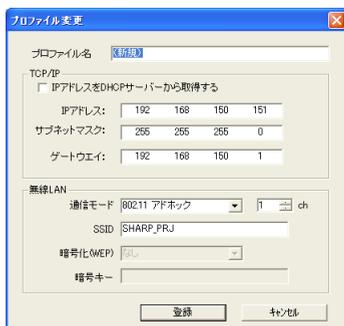
## 2. 画面の説明

### ■ 起動画面



プロフィール	登録されている設定の名称です。
設定情報	選択したプロフィールに登録されている内容です。
新規登録	新しいプロフィールを登録するボタンです。
編集	登録されているプロフィールを修正するボタンです。
削除	登録されているプロフィールを削除するボタンです。
ネットワーク切換	選択されたプロフィールの内容にネットワークの設定を変更するボタンです。
閉じる	ソフトウェアを終了するボタンです。
コメント	操作のヒントが表示されます。

## ■設定内容変更ダイアログ



プロフィール名	設定の名称です。
TCP/IP	TCP/IP関連の設定をします。
無線LAN	ワイヤレスLAN関連の設定をします。
登録	設定した内容を登録し、ダイアログを閉じます。
キャンセル	設定した内容を破棄し、ダイアログを閉じます。

※暗号化はサポートしていません。

## 3. かんたんにワイヤレスLAN接続する(クイック接続)

ここでは、プロジェクトーとかんたんにワイヤレスLAN接続する方法を説明します。

### ●ご注意

- すでにワイヤレスネットワークが構築されている場所でクイック接続(DHCP)を行うと、既存のネットワークに障害が発生する場合があります。このような場合は、ネットワーク管理者へご相談ください。
- クイック接続(DHCPサーバーから取得)に設定されているとき、IPアドレス等のネットワークの設定データはプロジェクトー側から取得します。先にプロジェクトーを起動し、画面に「待機中」の表示が出た後、コンピュータを起動してください。

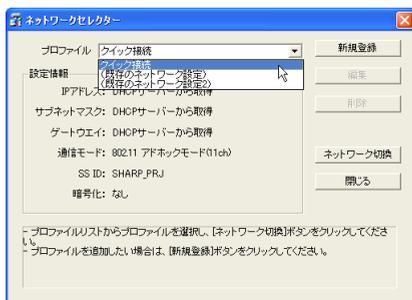
## 1 プロジェクターの電源を入れ、プロジェクターのネットワーク設定をリセットします。

- ① プロジェクター本体で「ネットワーク」メニューの「リセット」を選択し、ENTER(決定)ボタンを押します。
  - ② 確認メッセージが表示されるので、「はい」を選択してENTER(決定)ボタンを押します。
  - ③ ワイヤレスLAN PCカードAN-WC11Bを、プロジェクターのINPUT(入力)4 PCカードスロットに装着します。
  - ④ 「待機中」と表示されるまで待ちます。
- ワイヤレスLAN PCカードの装着のしかたやメニューの操作方法については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

## 2 Network Selectorを起動します。

詳しくは、「1.起動と終了」(18ページ)をご覧ください。

## 3 「プロファイル」の▼をクリックし、リストの中から「クイック接続」を選択します。

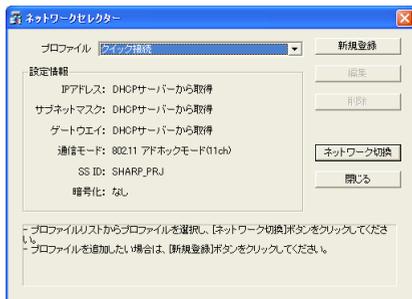


### メモ

プロファイルのリストの内容はお使いのコンピュータのネットワーク環境により異なります。

## 4 「ネットワーク切替」ボタンをクリックします。

確認ダイアログが表示されます。



## メモ

「ネットワーク切換」ボタンがグレー表示になっている場合は、すでにクイック接続の準備ができています。「閉じる」ボタンをクリックして Network Selectorを終了してください。

## 5 「はい」ボタンをクリックします。

コンピュータが再起動されます。



再起動後コンピュータの設定が変更され、ワイヤレスLAN接続できる状態になります。

## メモ

クイック接続時のネットワーク設定は次の通りです。

### ■プロジェクター側

IPアドレス	192.168.150.150
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.150.1
チャンネル	11ch
SSID	SHARP_PRJ
DHCPサーバー機能	有効
割り当て開始アドレス	192.168.150.151
最大割り当てアドレス数	10アドレス

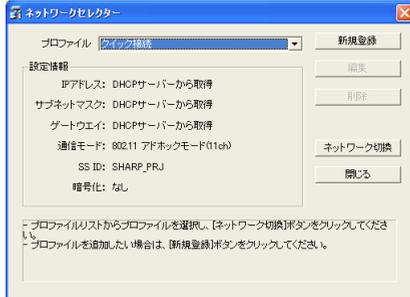
### ■コンピュータ側

IPアドレス	DHCPサーバーから取得
サブネットマスク	DHCPサーバーから取得
ゲートウェイ	DHCPサーバーから取得
チャンネル	11ch
SSID	SHARP_PRJ
無線通信	802.11アドホックモード
暗号化	なし

## 4. 新しいネットワーク設定を登録する

- ここでは、ワイヤレスLANのネットワーク設定を手動で行い、登録する方法を説明します。
- クイック接続時のネットワーク設定は、既存のネットワーク設定で問題がある場合に行ってください。

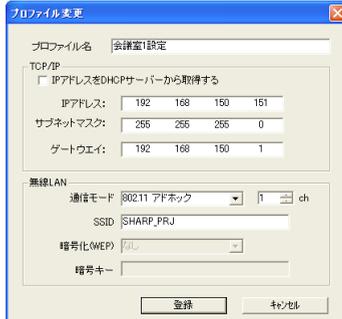
- 1 「新規登録」ボタンをクリックします。  
設定内容変更ダイアログが表示されます。



- 2 「プロファイル名」に、設定名を入力します。  
あとで設定内容がわかる名前をつけます。



- 3 「TCP/IP」「無線LAN」の各項目を設定します。



## ■ TCP/IP

### 「IPアドレスをDHCPサーバーから取得する」

プロジェクターのDHCPサーバー機能を使うときなど、IPアドレスをDHCPサーバーから取得するときはチェックを入れます。チェックを入れると、TCP/IPに関する以下の項目は設定しなくてもよいため、入力できなくなります。

### 「IPアドレス」

コンピュータのIPアドレスを入力します。

### 「サブネットマスク」

サブネットマスクを入力します。

### 「ゲートウェイ」

ゲートウェイアドレスを入力します。

## ■ 無線LAN

### 「通信モード」「チャンネル」

ワイヤレスLANの通信モードと、使用するワイヤレスLANチャンネルを選択します。プロジェクターを使うときは、「通信モード」を「802.11アドホック」に設定してください。コンピュータとプロジェクターは同じ設定にしてください。

### 「SS ID」

SS ID(グループ名)を入力します。

SS IDを設定したときは、プロジェクター側も同じ設定に変更してください。

### 「暗号化(WEP)」

暗号化するかどうかを選択します。(暗号化はサポートしていません。)

### 「暗号キー」

暗号化するときの、暗号キーを入力します。(暗号化はサポートしていません。)

## 4 設定内容を登録するときは、「登録」ボタンをクリックします。

設定が登録されて、ダイアログを閉じます。

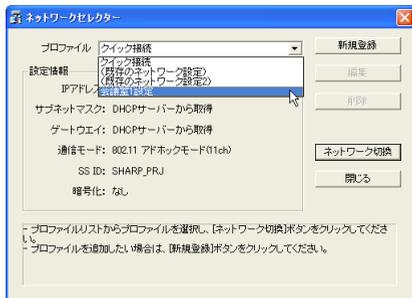
設定を途中でやめるときは、「キャンセル」ボタンをクリックします。

設定を登録せずにダイアログを閉じます。

## 5. ネットワーク設定のしかた

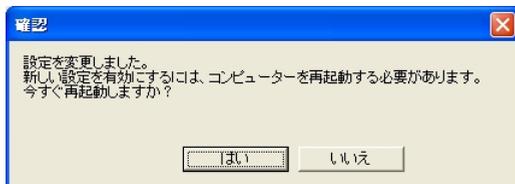
ここでは、プロファイルを選んでネットワーク設定を変更する方法を説明します。

- 1 「プロファイル」の▼をクリックし、リストの中から設定したいプロファイルを選択します。



- 2 「ネットワーク切替」ボタンをクリックします。  
確認ダイアログが表示されます。

- 3 「はい」ボタンをクリックします。  
コンピュータが再起動されます。

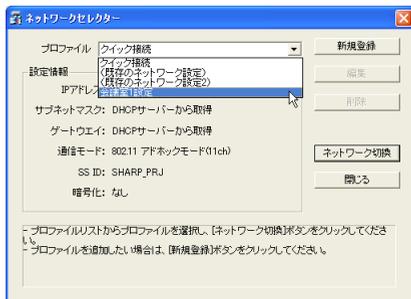


再起動後コンピュータの設定が変更され、ワイヤレスLANで接続できる状態になります。

## 6. プロファイルを編集する

ここでは、登録されているプロファイルの内容を修正する方法を説明します。

### 1 「プロファイル」で、編集したいプロファイルを選択します。



### 2 「編集」ボタンをクリックします。 設定内容変更ダイアログが表示されます。

### 3 あとは「4. 新しいネットワーク設定を登録する(23ページ)」の手順2 以降の手順に従い、設定を変更します。



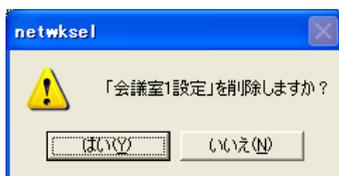
## 7. プロファイルを削除する

ここでは、登録されているプロファイルの内容を削除する方法を説明します。

### 1 「プロファイル」で、削除したいプロファイルを選択します。



### 2 「削除」ボタンをクリックします。 確認ダイアログが表示されます。



### 3 「はい」ボタンをクリックします。 プロファイルが削除されます。

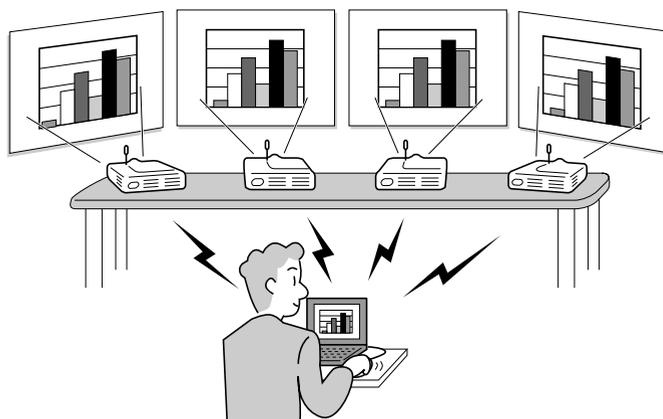
#### メモ

現在使用中のプロファイルは削除できません。

# 画像をプロジェクターに送信する(Image Transfer)

ここでは、コンピュータからプロジェクターへ画像を送信し、プロジェクターで投影させる方法を説明します。

このソフトウェアを使うと、最大で同時に4台のプロジェクターへ、同じ画像を送信して表示させることができます。



## 1. 起動と終了

ここでは、Image Transferの起動方法および終了方法を説明します。

### メモ

- ワイヤレスLAN PCカードを使って画像を送信するときは、最初にプロジェクターの電源を入れてください。プロジェクターの画面に「待機中」と表示されたら、コンピュータの電源を入れてください。

### 起動のしかた

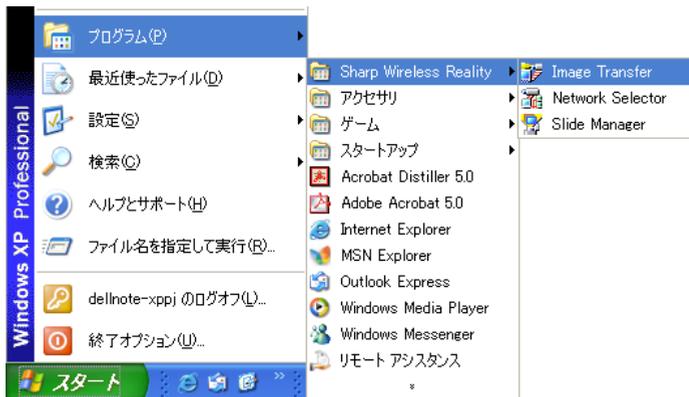
- 1** プロジェクターの電源を入れ、画面に「待機中」と表示された状態にします。
  - プロジェクターに同梱のワイヤレスLAN PCカードまたは別売のワイヤレスLAN PCカード「AN-WC11B」を、プロジェクターのINPUT(入力)4 PCカードスロットとコンピュータのPCカードスロットにそれぞれ装着してください。
  - 装着のしかたについては、プロジェクターの取扱説明書およびコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

## 2 コンピュータを起動します。

### メモ

- インストール時にImage Transferをスタートアップに登録しているときは、手順4へ進んでください。

## 3 コンピュータの「スタート」メニューをクリックし、「プログラム」→「Sharp Wireless Reality」→「Image Transfer」の順にクリックします。



この状態で、タスクトレイにプロジェクターのアイコンが追加されます。

## 4 タスクトレイのプロジェクターアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから「設定」をクリックします。



## 5 設定ダイアログで通信するプロジェクターをクリックします。

### お知らせ

- 送信先タブにプロジェクター名が表示されないときは、「プロジェクターを検索」ボタンをクリックします。
- 送信先の「プロジェクター名」「IPアドレス」「MACアドレス」が、プロジェクターの画面表示と一致していることを必ず確認してください。確認しないと、送信したいプロジェクター以外にも送信されてしまいます。

## ■ 設定ダイアログ



- 送信先タブ 送信相手となるプロジェクターを選択します。  
画質タブ 送信する画像の画質を選択します。  
オプションタブ 送信するときの詳細を設定します。

### 終了のしかた

- 1 タスクトレイのプロジェクターアイコンにマウスカーソルを重ね、右クリックします。  
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 「終了」をクリックします。



ソフトウェアを終了します。タスクトレイのプロジェクターアイコンが消えます。

## 2. 画面の説明

### ■タスクトレイと右クリックメニュー



Image Transferを起動するとシステムに常駐し、タスクトレイに次のいずれかのアイコンが表示されます。



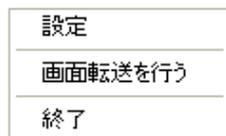
画像を送信中のとき



画像を送信可能な状態で待機中のとき



プロジェクターがワイヤレスLANネットワーク上で見つからないとき



タスクトレイのアイコンにマウスカーソルを重ね、右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

**設定** ソフトウェアの各種設定を行なうときに選びます。

**画面転送を行う** 現在表示している画面をプロジェクターで投映したいときに選びます。投映をやめるときも選びます。

**終了** ソフトウェアを終了したいときに選びます。

### 3. リアルタイムで表示する

ここでは、コンピュータの画面をリアルタイムにプロジェクターで表示する方法を説明します。画面転送を終了するまで、コンピュータの画面をプロジェクターへ送信し続けるモードです。

コンピュータの操作画面を大勢で見たいときなどに便利な機能です。

#### メモ

- 画面転送している途中は、プロジェクター本体のキー操作の反応が遅くなります。
- 画面転送している途中で、プロジェクター本体の入力を切り換えると、通信が切断されます。

リアルタイムで表示する方法は、以下の3通りがあります。

#### ■ 右クリックメニューから送信

- 1 タスクトレイのプロジェクターアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから「画面転送を行う」をクリックします。



#### メモ

- 転送を途中でやめたいときは、転送中に「画面転送を行う」をクリックします。

#### ■ プロジェクターアイコンから送信

- 1 タスクトレイのプロジェクターアイコンをダブルクリックします。



#### メモ

- 送信を途中でやめたいときは、再度タスクトレイのプロジェクターアイコンをダブルクリックします。

#### ■ 送信開始/停止キーで送信

- 1 送信開始/停止キー(インストール直後の状態ではキーボードの「Pause」キー)を押します。

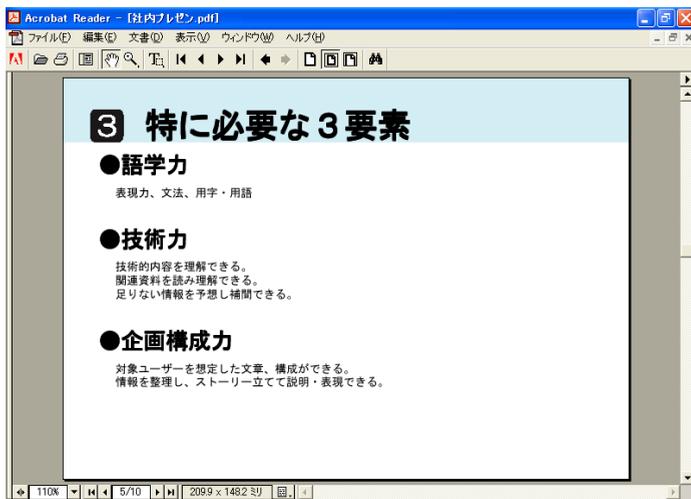
#### メモ

- 送信を途中でやめたいときは、再度、送信開始/停止キーを押します。
- PowerPointなど全画面表示するアプリケーションソフトウェアでは、タスクトレイが表示されないため、この送信開始/停止キーをお使いください。
- 送信開始/停止キーは好きなキーに変更できます。詳しくは「[6.設定を変更する](#)」(38ページ)をご覧ください。
- Windows 98、98SE、MeのMS-DOSプロンプトがアクティブ画面の場合、働きません。

## 4. 静止画で表示する

ここでは、コンピュータに表示されている画面を画像としてプロジェクターで表示する方法を説明します。リアルタイムでの表示と異なり、コンピュータに表示されている画面を1回だけプロジェクターへ送信するモードです。プレゼンテーションで1つの画面を説明するときなどに便利な機能です。

### 1 送信したい画面を、コンピュータの画面に表示させます。



### 2 ワンショットキー(インストール直後の状態ではキーボードの「Print Screen」キー)を押します。

コンピュータで表示している画面が、プロジェクターに送信されます。

#### メモ

- ワンショットキーは好きなキーに変更できます。詳しくは「[6.設定を変更する](#)」(38ページ)をご覧ください。

## 5. 画像ファイルを表示する

ここでは、コンピュータに保存してある画像ファイルをプロジェクターで表示する方法を説明します。

送信できる画像ファイルは、次の通りです。

- 無圧縮ビットマップファイル(.BMP)
- JPEGファイル(.JPGまたは.JPEG)
- VQファイル(.VQ)
- 無圧縮TIFF(.TIF)

### メモ

- 2つ以上の画像ファイルを、一度にまとめて送信することはできません。

画像ファイルを送信する方法は、3通りあります。

### ■設定ダイアログへドラッグ&ドロップして送信

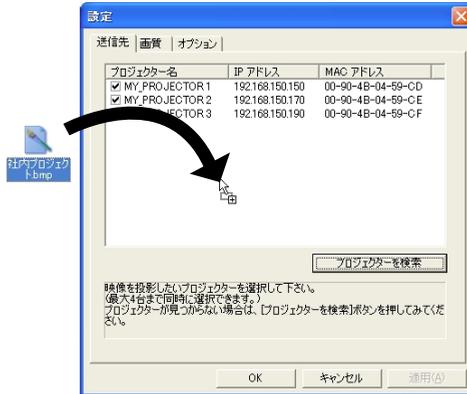
- 1** タスクトレイのプロジェクターアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから「設定」をクリックします。

設定ダイアログが表示されます。



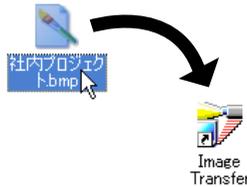
## 2 送信したい画像ファイルを、送信先タブのウィンドウの中へドラッグ & ドロップします。

ドロップすると同時に送信されます。



## ■ショートカットへドラッグ&ドロップして送信

デスクトップにImage Transferのショートカットを作成しておき、そこへドラッグ&ドロップします。



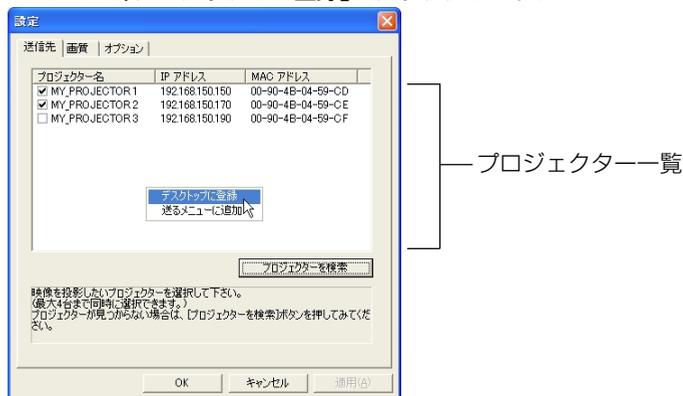
ショートカットの作成方法は、次の通りです。

### 1 タスクトレイのプロジェクトターアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから「設定」をクリックします。

設定ダイアログが表示されます。



- 2 「送信先」タブのプロジェクト一覧で右クリックし、ポップアップメニューから「デスクトップに登録」をクリックします。



デスクトップに、Image Transferのショートカットアイコンが表示されます。



## ■「送る」メニューから送信

送信したい画像ファイルを右クリックしたときの「送る」メニューに「プロジェクト」を追加しておき、「送る」メニューを使って送信します。

- 「送る」メニューに「プロジェクト」を追加する方法は、次の通りです。

- 1 タスクトレイのプロジェクトアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから「設定」をクリックします。

設定ダイアログが表示されます。

## 2 「送信先」タブのプロジェクト一覧で右クリックし、ポップアップメニューから「送るメニューに追加」をクリックします。

これで「送る」メニューに、「プロジェクト」が追加されます。



プロジェクト一覧

- 「送る」メニューを使って送信する方法は、次の通りです。

### 1 送信したい画像ファイルを右クリックし、ポップアップメニューから「送る」→「プロジェクト」の順にクリックします。

これで画像ファイルがプロジェクトへ送信されます。

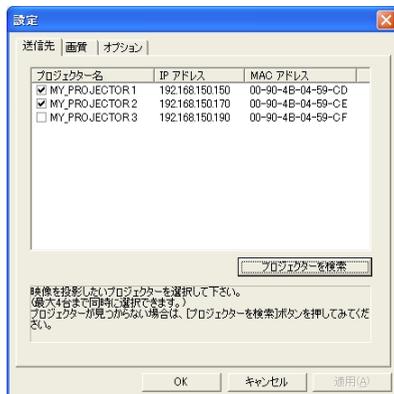


## 6. 設定を変更する

ここでは、Image Transferの設定を変更する方法を説明します。

- 1 タスクトレイのプロジェクトアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから「設定」をクリックします。

設定ダイアログが表示されます。



- 2 各タブを選んで設定します。

## 送信先タブ

- 送信相手となるプロジェクターを選択します。最大4台まで、同時に選択することができます。
- 一覧に表示されているのは、ワイヤレスLANでコンピュータが認識しているプロジェクターです。ここで表示されていないプロジェクターには、画像を送信することはできません。
- 送信したいプロジェクター名のチェックボックスに  を入れます。



- プロジェクター名** プロジェクター側で設定している名前です。
- IPアドレス** プロジェクターのIPアドレスです。
- MACアドレス** プロジェクターのMACアドレスです。
- プロジェクターを検索** ワイヤレスLAN接続できるプロジェクターを再検索し、一覧を更新します。

### お知らせ

- 送信先の「プロジェクター名」「IPアドレス」「MACアドレス」が、プロジェクターの画面表示と一致していることを必ず確認してください。確認しないと、送信したいプロジェクター以外にも送信されてしまいます。

## 画質タブ



送信する画像の画質を、次の6つから1つを選択することができます。

**写真(高画質)** 写真やCGを多用した画像などを、特に画質にこだわって(高画質に)投映したいとき。

**写真(標準)** 写真やCGを多用した画像を投映したいとき。

**写真(高速送信)** CGアニメーションやムービーなど、動きのある画像を投映したいとき。

**文字(高画質)** 文字と写真等が混在した画像を、特に画質にこだわって(高画質に)投映したいとき。

**文字(標準)** 文字と写真等が混在した画像を投映したいとき。

**文字(高速送信)** 文字と写真等が混在した画像がスクロールするなど、動きのある画像を投映したいとき。

## オプションタブ

送信するときの詳細を設定します。



### マウスカーソル

コンピュータの画面をプロジェクターに投映するとき、マウスカーソルも表示するかどうかを選択します。マウスカーソルを表示したくないときは、チェックをはずします。

#### **お知らせ**

- ご使用のコンピュータの環境によっては、マウスカーソルが点滅したり、またプロジェクターへ画像を転送したあと、マウスカーソルがスムーズに動かないことがあります。このようなときは、コンピュータの画面設定を16ビットカラーまたは24ビットカラー、およびマウスカーソルを標準にしてください。

### 送信開始/停止キー

プロジェクターへの画像送信を開始したり停止したりするキーを指定します。インストール直後は「Pause」キーに設定されています。

設定を変更したいときは、「[キー設定を変更する](#)」(41ページ)をご覧ください。

## ワンショットキー

プロジェクターへ画像を送信するキーを指定します。インストール直後は「PrintScreen」キーに設定されています。

設定を変更したいときは、「キー設定を変更する」をご覧ください。

## 自動検索

Image Transfer起動時に、ワイヤレスLANネットワーク上のプロジェクターを自動的に検索させたいときに、チェックを入れます。自動検索すると、ソフトウェアの起動に多少時間がかかるようになります。

自動検索にした場合、送信先のプロジェクターを確認してから画像を送信してください。

### 【お知らせ】

- 送信先タブにプロジェクター名が表示されないときは、「プロジェクター検索」ボタンをクリックします。
- 送信先の「プロジェクター名」「IPアドレス」「MACアドレス」が、プロジェクターの画面表示と一致していることを必ず確認してください。確認しないと、送信したいプロジェクター以外にも送信されてしまいます。

## 表示モード

リアルタイムで表示するときの表示モードを選択します。

「一括表示」 コンピュータからプロジェクターに画像データを1画面分送信し終わってから、一度に画面を表示するモードです。そのため、画面の切り換えに多少時間がかかります。スライドショーで1ページずつ説明しながら表示するなど、画面全体がとどき大きく変化するような画像を表示するときに選びます。

「ワイプダウン」 コンピュータからプロジェクターに送信された画像データを、順次上から下へ描画していくモードです。コンピュータの操作画面や動画を表示するなど、画面の一部がひんぱんに変化するような画像を表示するときに選びます。

## ■ キー設定を変更する

送信開始/停止キー、ワンショットキーを変更する方法は次の通りです。

**1** オプションタブで変更したいキーの「キー設定」ボタンをクリックします。

**2** 設定したいキーを、キーボードで押します。

**3** 「OK」ボタンをクリックします。

設定をやめるときは、「Cancel」ボタンをクリックします。

### 【メモ】

- キーボードのEnterキーも設定できますので、手順**3**では必ずマウスを使って「OK」ボタンまたは「Cancel」ボタンをクリックしてください。
- 設定を変更できないキーもあります。手順**2**で設定したいキーを押したとき、画面のキーの名称が変わらないときは、そのキーは変更できません。

# スライドショーを作成する(Slide Manager)

Slide Managerを使って、自動再生指定したスクリプトファイル(スライドショー定義ファイル)をメモリーカードに保存し、プロジェクターで自動的に再生を行うファイルを作成することができます。

## お知らせ

- プロジェクターの取扱説明書の「メモリーカード関連の設定をする」の「オートラン機能を使う」もあわせてご覧ください。

## メモ

- スクリプトファイルを作成できるデータのファイル形式は、次の通りです。  
PPT形式\*1    BMP形式\*2    JPEG形式\*3    TIFF形式\*4  
VQ形式

\*1：Microsoft PowerPointがインストールされている必要があります。  
(PowerPointビューアは除く)

\*2：無圧縮ビットマップのみ対応しています。

\*3：プログレッシブJPEGには対応していません。

\*4：RGB無圧縮のみ対応しています。

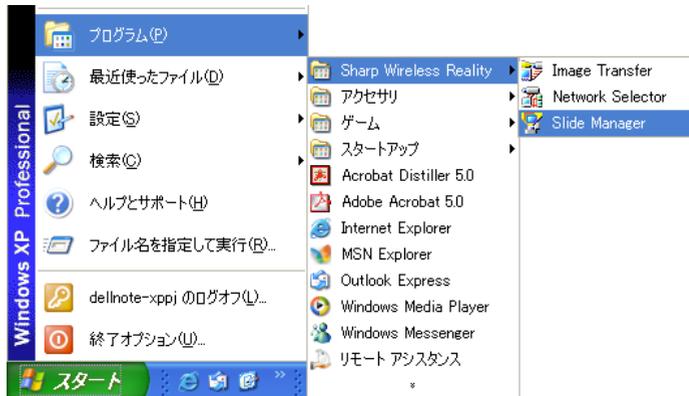
## 1. 起動と終了

ここでは、Slide Managerの起動方法および終了方法を説明します。

### 起動のしかた

- 1 コンピュータの「スタート」メニューをクリックし、「プログラム」→「Sharp Wireless Reality」→「Slide Manager」の順にクリックします。

選択したモードのウィンドウが開きます。



## 終了のしかた

- 1 「ファイル」メニューから「終了」を選びます。

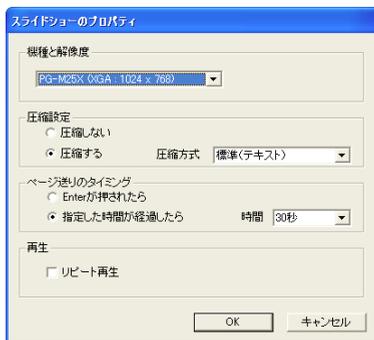
## 2. プロパティを設定する

プロパティを設定して、よく使う設定を記憶させることができます。

- 1 「ファイル」メニューから「プロパティ...」を選びます。



### スライドショーのプロパティ



#### 機種と解像度

使用する機種を選択します。

#### メモ

- PG-M25Xでは設定を変える必要はありません。

## 圧縮設定

「圧縮しない」「圧縮する」を選択します。

「圧縮する」を選択したときは、「圧縮方式」を設定します。

### メモ

- 「圧縮しない」を選ぶと、スライドがBMPファイルとして保存されます。「圧縮する」を選ぶと、スライドがVQファイルとして保存されます。
- 「圧縮しない」を選んだときは、表示に時間がかかります。
- 圧縮方式は圧縮率によって、「高画質」「標準」「小ファイルサイズ」を選ぶことができます。通常は標準を選択してください。「(テキスト)」は文字の多い画像の保存に、「(写真)」は写真が含まれる画像を保存するときに適しています。
- 項目はプルダウンメニューから選びます。

## ページ送りのタイミング

「Enterが押されたら」「指定した時間が経過したら」を選択します。

「指定した時間が経過したら」を選択したときは、「時間」を設定します。

### メモ

- 「時間」は、プルダウンメニューから15秒、30秒、45秒、1分、1.5分、2分、5分のいずれかを選ぶことができます。
- BMPファイルなど、ファイルサイズの大きい画像は表示に15秒以上かかることがあります。

## 再生

スライドショー実行時に、最終ページまで表示した後、再び最初のページから表示させたいときは、「リピート再生」チェックボックスにチェックを入れます。

## 2 設定後、「OK」ボタンをクリックします。

### 3. スライドショーファイルを作成する

ここでは、スライドショーファイルの作成方法について説明します。

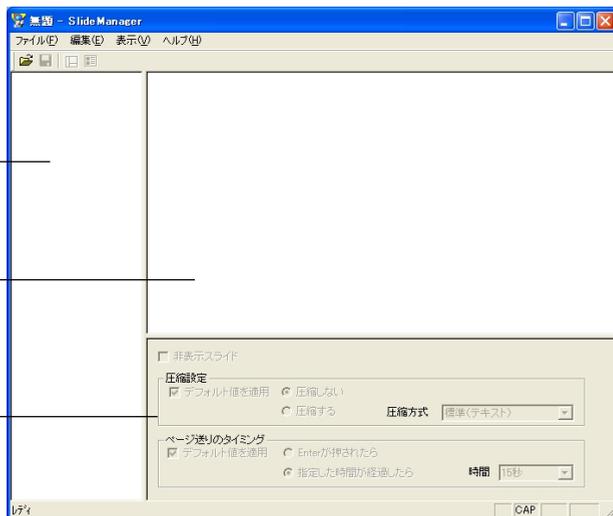
#### 1 Slide Managerを起動します。

詳しくは、「1.起動と終了」(42ページ)をご覧ください。

サムネイル表示エリア  
スライドに変換された画像  
が縮小表示されます。

プレビューエリア  
サムネイル表示エリアで選  
択された画像が拡大表示さ  
れます。

プロパティエリア  
スライドに変換されたファ  
イルのプロパティを表示し  
ます。



#### 2 ファイルをスライドに変換します。

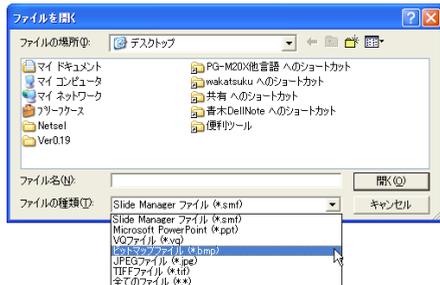
ファイルをスライドに変換するには、次のいずれかの方法で行います。

1. 新規にスクリプトファイルを作成するとき  
「ファイル」-「開く」でファイルを開く。
2. 編集集中のスクリプトファイルに追加するとき  
「ファイル」-「インポート」でファイルをインポートする。

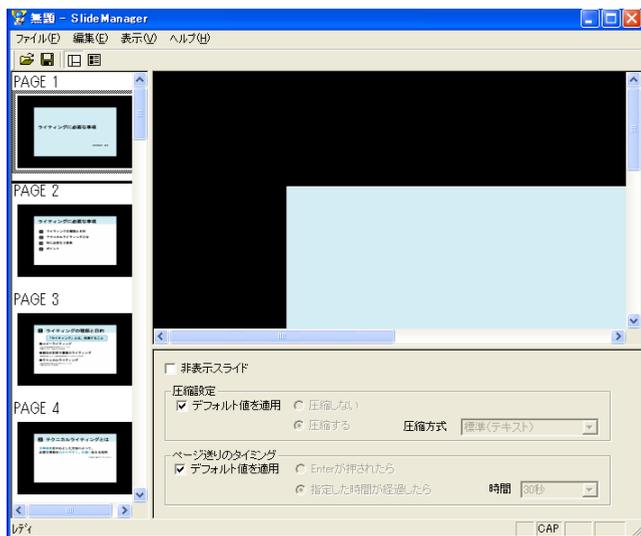
スライドに変換した画像が、サムネイル表示エリアに表示されます。

#### メモ

- スクリプトファイルを作成するときやスクリプトファイルに追加するときに、「ファイルを開く」ダイアログで「ファイルの種類」を選び、変換したいファイルのファイル形式を選択します。



- 変換できるファイルについては、42ページをご覧ください。
- サムネイル表示エリアにファイルをドロップして変換することもできます。



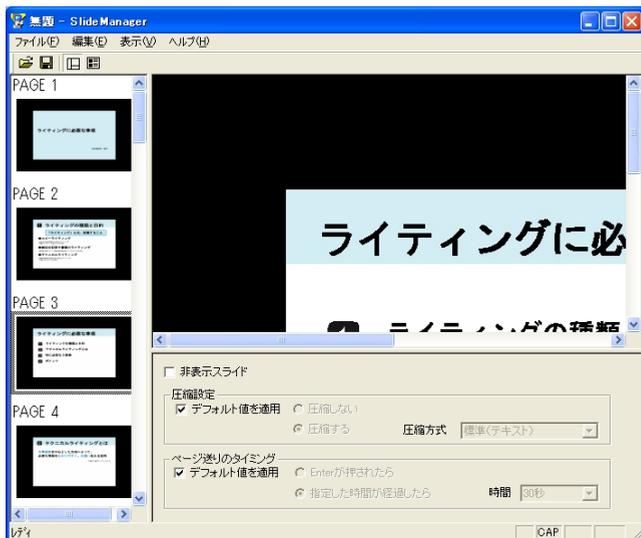
### メモ

- カラーのPowerPointデータがモノクロのスライドに変換されてしまうときは、62ページ「カラーのPowerPointデータがモノクロのデータに変換されてしまう」をご覧ください。

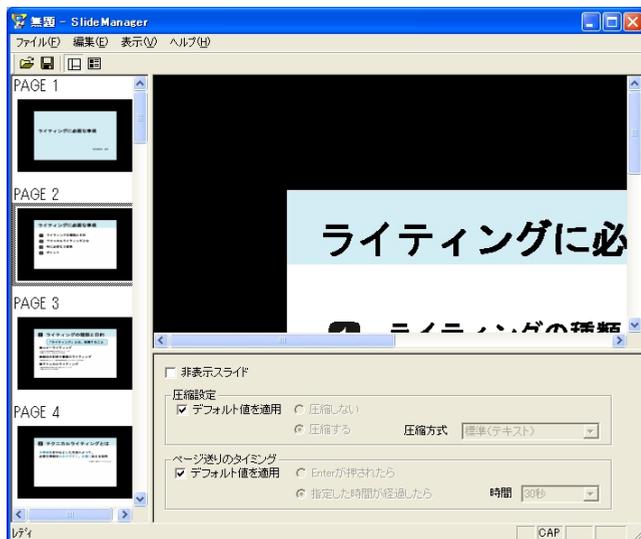
## スライドの順番を入れ換えたいときは

例) PAGE3とPAGE2を入れ換える。

- 1 入れ換えたいスライドにマウスカーソルを合わせ、クリックします。



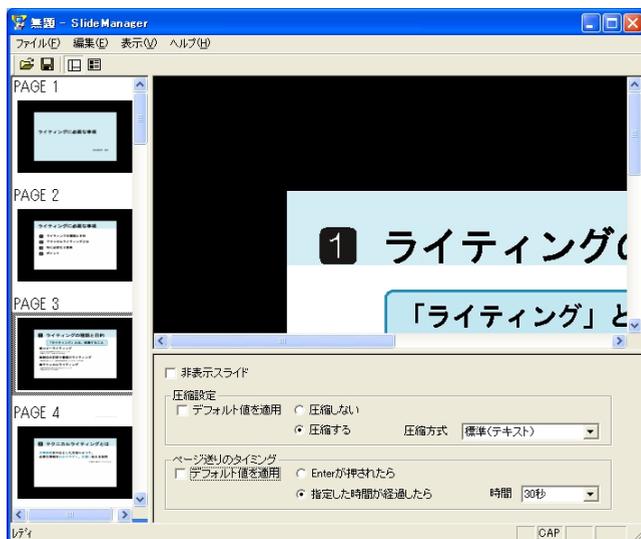
## 2 好きな場所にスライドをドラッグします。



スライドを削除したいときは

- 1 削除したいスライドをクリックします。
- 2 「Delete」キーを押すか、「編集」→「スライドの削除」を選択します。

個別に「圧縮設定」「ページ送りのタイミング」を設定したいときは



- 1 プロパティ設定エリアにある「デフォルト値を適用」チェックボックスのチェックを外します。
- 2 プロパティエリア内の「圧縮設定」「ページ送りのタイミング」を設定します。  
設定のしかたについては「2. プロパティを設定する」(43ページ)をご覧ください。

### メモ

- プロパティエリア内で設定した圧縮方式によって、実際に圧縮されたスライドの状態をプレビューエリアで確認することができます。

## 保存しているスライドを非表示にしたいときは



- 1 プロパティエリア内の「非表示スライド」チェックボックスにチェックを入れます。  
表示させたいときは「非表示スライド」チェックボックスからチェックを外します。

## 各スライドのプロパティを一覧表示させるには

- 1 メニューバー下にある「スライドプロパティ」アイコンをクリック、または「表示」→「スライドプロパティ」を選択します。  
各スライドのプロパティを一覧表示できます。

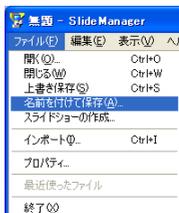


各スライドのプロパティ(「圧縮設定」、「ページ送りのタイミング」)を個別に設定することができます。

## 4. 作成途中のファイルを保存する

作成途中のスライドショーファイルをコンピュータに保存します。作業を一時中断し、のちに再開するときに便利です。

**1** 「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選択します。



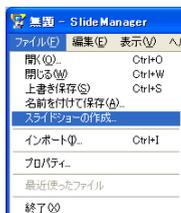
**2** ファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



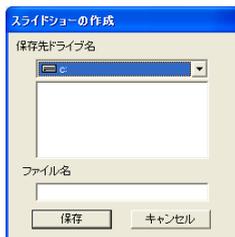
## 5. スライドショーファイルをメモリーカードに保存する

完成したスライドショーファイルをメモリーカードに保存します。メモリーカードに保存すると、オートラン機能などの設定も保存されます。

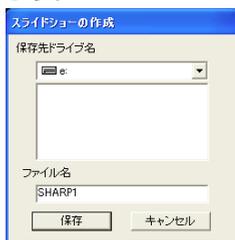
**1** 「ファイル」メニューから「スライドショーの作成...」を選択します。



**2** 「保存先ドライブ名」で、メモリーカードのドライブを選択します。



**3** 「ファイル名」に、作成したスライドショーファイルの保存名を入力します。



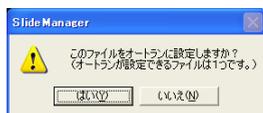
### メモ

入力できる文字は、次の通りです。

- 英字 (A~Z)、数字 (0~9)、記号 (-、\_、左右カッコ)

**4** 「保存」ボタンをクリックします。  
オートランダイアログが表示されます。

- 5 オートラン設定したいときは、「はい」ボタンをクリックします。  
オートラン設定しないときは、「いいえ」ボタンをクリックします。



**メモ**

- オートラン設定できるファイルは、メモリーカード1枚につき1つだけです。

# ファイルを画像ファイルに変換する(Virtual Printer)

一般的なアプリケーションソフトウェアで作成した印刷可能なファイルを画像(BMP)ファイルに変換することができます。変換した画像ファイルはSlide Managerのスライドとして取り込むことができます。

## メモ

- PowerPointビューアでは動作しません。

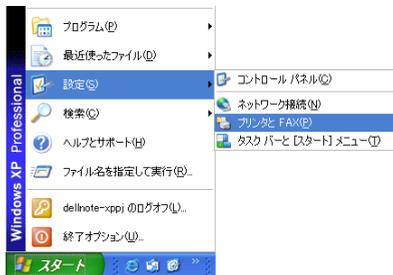
## 1. プロパティの設定をする

ここでは、画像ファイルへ変換する際の画質やサイズを変更する方法を説明します。

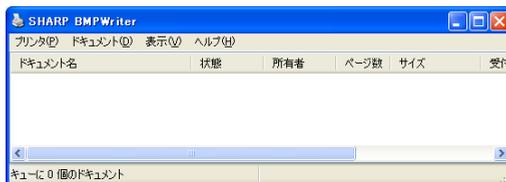
## メモ

- 特に必要がなければ、設定の変更を行う必要はありません。

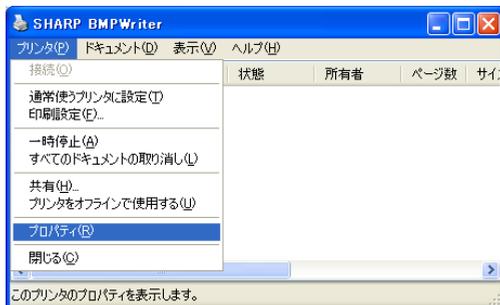
- 1 コンピュータの「スタート」メニューをクリックし、「設定」→「プリンタとFAX」の順にクリックします。



- 2 「SHARP BMPWriter」アイコンをダブルクリックします。選択したモードのウィンドウが開きます。



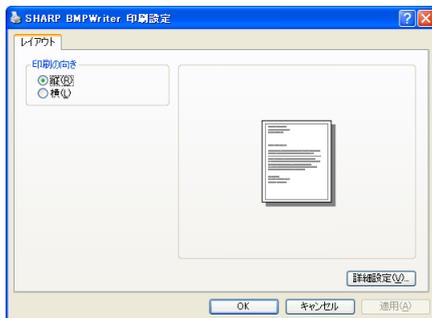
### 3 「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。



### 4 「印刷設定...」ボタンをクリックします。 「印刷設定」シートが表示されます。



### 5 「印刷の向き」を選択します。

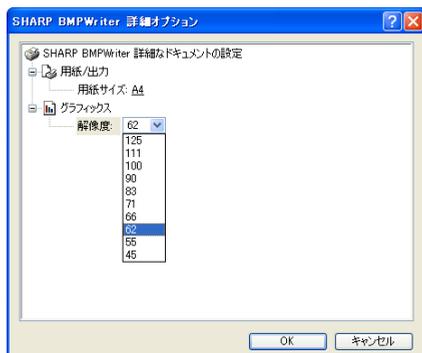


### 6 「詳細設定」ボタンをクリックします。 「詳細オプション」シートが表示されます。

**7** 「用紙サイズ」の欄で、お好みの用紙サイズを選択します。



**8** 「解像度」の欄で、お好みの解像度を選択します。



**メモ**

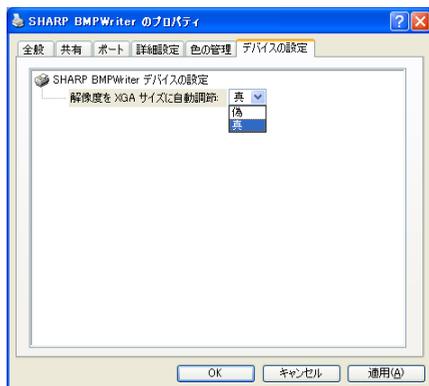
- 変換した画像ファイルのファイルサイズを小さくしたいときは、解像度を低く設定してください。
- 変換した画像ファイルをきれいに表示したいときは、解像度を高く設定してください。

**9** 「OK」ボタンをクリックします。

「印刷設定」シートに戻ります。

**10** 「OK」ボタンをクリックします。

- 11** 出力されるビットマップ(BMP)ファイルの画像サイズをXGAサイズ内に収まるようにしたいときは、「デバイスの設定」タブをクリックし、「真」に設定します。



- 12** 「OK」ボタンをクリックします。  
「SHARP BMPWriterのプロパティ」ウィンドウが閉じます。

## 2. アプリケーションのファイルを画像ファイルに変換する

ここでは、アプリケーションで作成した印刷可能なファイルを、画像 (BMP) ファイルに変換する方法を、PowerPointを例にして説明します。

- 1 画像ファイルに変換したいファイルを、作成したアプリケーションで開きます。
- 2 「ファイル」メニューから「印刷...」を選択します。  
印刷ダイアログが表示されます。



- 3 「プリンタ名」から、「SHARP BMPWriter」を選択します。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。  
「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。



- 5 ファイル名を入力して「保存」ボタンをクリックします。  
画像 (BMP) ファイルがコンピュータに保存されます。

### メモ

- カラーのPowerPointデータがモノクロのBMPファイルに変換されてしまうときは、62ページ「カラーのPowerPointデータがモノクロのデータに変換されてしまう」をご覧ください。

### 画像を送信できない、あるいは通信中エラーが発生する

---

- 他の無線機器の使用を中止してください。
- 通信距離が離れすぎていませんか。通信相手のワイヤレスLAN PCカードとの距離を短くしてみてください。
- 通信相手のワイヤレスLAN PCカードとの間にある障害物を取り除いてみてください。
- ネットワーク設定は正しいですか。ネットワーク設定については、ネットワーク管理者にご相談ください。

### 画像を送信する速度が遅い

---

- 他のアプリケーションが起動しているときは、終了させてください。
- コンピュータの画像サイズをXGA以下にしてください。

### 画質が悪い

---

- 画質の設定を確認してください。  
Image Transfer([38ページ](#))  
Slide Manager([43ページ](#))

### プロジェクターが見つからない(Image Transfer)

---

- 最初にプロジェクターの電源を入れてください。プロジェクターの画面に「待機中」と表示されたら、コンピュータの電源を入れてください。

### ワイヤレスLAN PCカードが使えない

---

- **ワイヤレスLAN PCカードのLINKランプが点灯していますか？**
  - 点灯：正常に動作しています。
  - 点滅：ワイヤレスLAN PCカードのドライバーが正常に動作していません。ドライバーをコンピュータに再度インストールし直してください。
  - 消灯：ワイヤレスLAN PCカードが動作していません。きちんと装着してください。

## ●ワイヤレスLAN PCカードは正しく認識されていますか？

- 13ページ「正常に動作していないときは」をみて確認してください。

## ●プロジェクターとコンピュータのSS ID名/チャンネル/通信モードの設定内容は同じですか？

- SS ID名/チャンネル/通信モードの設定がすべて同一でないと通信はできません。
- プロジェクターと通信する場合は、通信モードを「802.11アドホック」に設定してください。

## ●プロジェクターとコンピュータのネットワークの設定状態を確認してください

- プロジェクターの「DHCP」の「サーバー」の設定が「OFF」になっているとき  
プロジェクターとコンピュータのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの値を再度確認してください。
- プロジェクターの「DHCP」の「サーバー」の設定が「ON」になっているとき  
プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、DHCPの割り当て開始アドレスの値を確認します。

IPアドレス：192.168.150.120  
サブネットマスク：255.255.255.0

割り当て開始アドレス：192.168.150.100…正しい  
割り当て開始アドレス：192.168.050.100…誤り

IPアドレス、DHCPの割り当て開始アドレスは、サブネットマスクで指定された部分が同一になっていないと、正常に割り当てができません。

- DHCPサーバーにてIPアドレスを自動取得したときの設定値を確認します。

### **1** コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)を開きます。

Windows 98,98SEのとき：「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリックします。

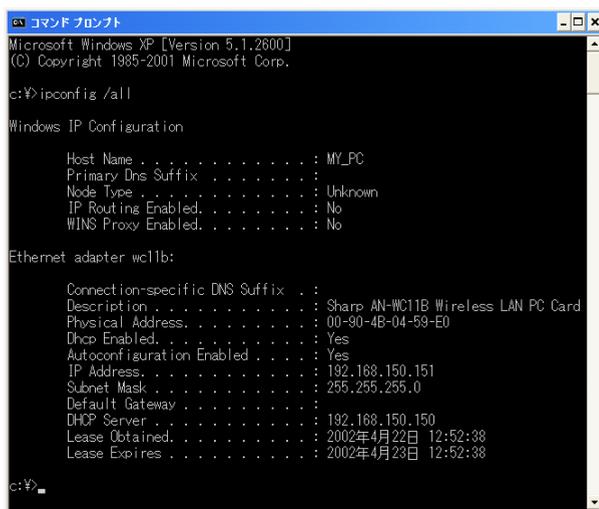
Windows Meのとき：「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリックします。

Windows 2000のとき：「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

Windows XPのとき：「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

## 2 コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)起動後、「ipconfig /all」コマンドを入力します。

C:¥>ipconfig /all [ENTER]



```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

c:¥>ipconfig /all

Windows IP Configuration

Host Name . . . . . : MY_PC
Primary Dns Suffix . . . . . :
Node Type . . . . . : Unknown
IP Routing Enabled. . . . . : No
WINS Proxy Enabled. . . . . : No

Ethernet adapter wcl1b:

Connection-specific DNS Suffix . :
Description . . . . . : Sharp AN-WC11B Wireless LAN PC Card
Physical Address. . . . . : 00-90-4B-04-59-E0
Dhcp Enabled. . . . . : Yes
Autoconfiguration Enabled . . . . : Yes
IP Address. . . . . : 192.168.150.151
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . :
DHCP Server . . . . . : 192.168.150.150
Lease Obtained. . . . . : 2002年4月22日 12:52:38
Lease Expires . . . . . : 2002年4月23日 12:52:38

c:¥>
```

### メモ

#### ipconfigの使用例

- C:¥> ipconfig /? ipconfig.exeの使用方法を表示する。
- C:¥> ipconfig 設定されているIPアドレスを表示する。
- C:¥> ipconfig /all 設定されているTCP/IP関係の設定情報を全部表示する。

- 取得したIPアドレスの値が、「169.254.XXX.XXX」になっているときDHCPからのIPアドレスの取得に失敗しています。  
DHCPクライアント機能がIPアドレスの取得に失敗した際、「169.254.XXX.XXX」というアドレスが、自動的に割り振られます。(IPアドレスのXXX.XXXの部分は、ランダムです。)
  - ① プロジェクター(DHCPサーバー側)がWindowsの起動前に動作していない場合に発生します。
  - ② ワイヤレスLANの設定やドライバーが正常であるか確認します。
  - ③ プロジェクターのDHCPサーバー機能の設定が正常であるか確認します。  
上記確認し問題無い場合、コンピュータを再起動してください。

- 「PING」コマンドにより、「TCP/IP」プロトコルが正常に動作していることを確認します。またIPアドレスが設定されていることを確認します。

### 1 コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)を開きます。

Windows 98,98SEのとき：「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリックします。

Windows Meのとき：「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOSプロンプト」の順にクリックします。

Windows 2000のとき：「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

Windows XPのとき：「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

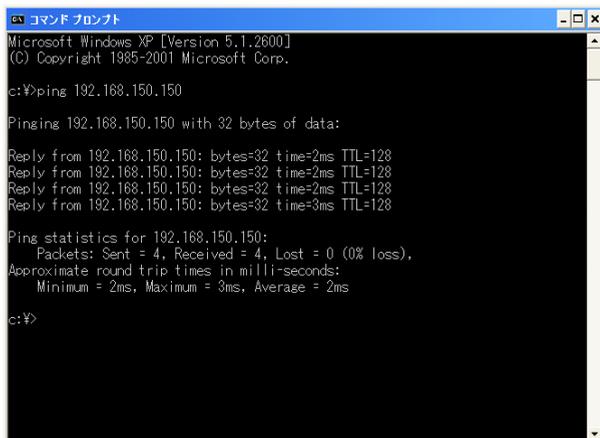
### 2 コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)を起動したあと、「PING」コマンドを入力します。

入力例 C：¥ >Ping XXX.XXX.XXX.XXX

「XXX.XXX.XXX.XXX」には、接続先(プロジェクター等)のIPアドレスを入力します。

### 3 正常に接続されている場合は、以下のように表示されます。 (OSによって、画面が若干異なることがあります。)

[例]接続先のIPアドレスが「192.168.150.150」のとき



```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

c:\¥>ping 192.168.150.150

Pinging 192.168.150.150 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.150.150: bytes=32 time=2ms TTL=128
Reply from 192.168.150.150: bytes=32 time=2ms TTL=128
Reply from 192.168.150.150: bytes=32 time=2ms TTL=128
Reply from 192.168.150.150: bytes=32 time=3ms TTL=128

Ping statistics for 192.168.150.150:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 2ms, Maximum = 3ms, Average = 2ms

c:\¥>
```

- 4** コマンド通信ができていないときは「Request timed out」と表示されます。  
ワイヤレスLANの設定およびネットワークの設定を再度確認してください。  
それでもうまく通信できない場合は、ネットワークの管理者に確認してください。
- 5** コマンドWindowsの画面に戻るには「exit」と入力し、「ENTER」キーを押します。

## カラーのPowerPointデータがモノクロのデータに変換されてしまう

---

- 変換したいPowerPointファイルをいったんPowerPointで開き、「ツール」メニューから「オプション」を選び、「印刷」タブで次の内容を確認してください。
- 1** 「最後に使ったプリンタ設定を使用する」になっている場合は、「次の標準のプリンタ設定を使用する」に変更します
  - 2** 「グレースケール」および「単純白黒印刷」のチェックボックスのチェックをはずします
  - 3** 「OK」をクリックし「オプション」ダイアログを閉じたあと、ファイルを保存します

以上の手順を行った上で、再度変換をしてみてください。

# お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は …………… **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は …………… **お客様相談センター** へ

## 修理相談センター

### ● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■ 受付時間 \*月曜～土曜：午前9時～午後6時 \*日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



### 0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。  
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話/PHSでのご利用は ……………	一般電話	043-299-3863	06-6792-5511
○ FAXを送信される場合は ……………	F A X	043-299-3865	06-6792-3221
○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。			

- ◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にて承っております。

■ 受付時間 \*月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

（但し、沖縄・奄美地区）は …… \*月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市緑台295-1
東海地区	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
	静岡サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
北陸地区	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上烏羽田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
九州地区	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町2-8-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

## お客様相談センター

■ 受付時間 \*月曜～土曜：午前9時～午後6時 \*日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043-297-4649	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06-6621-4649	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。(02.04)

## BMP

BitMaP の略です。Windows環境で標準的に使用される画像ファイルの保存形式の1つです。本ソフトウェアでは、無圧縮方式のみサポートしています。

## DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol : ディーエイチシーピー)

TCP/IPでネットワークを構築する際に、各機器ごとにIPアドレスを割り当てる必要がありますが、この作業を自動的に行うためのプロトコルです。

## DHCPクライアント機能 (ディーエイチシーピークライアント機能)

同一ネットワークに接続されたDHCPサーバーから、IPアドレス等を自動的に割り当ててもらえる機能です。

この機能は一般的なコンピュータには搭載されており、ネットワーク上にDHCPサーバーがある場合、コンピュータのIPアドレスを自動的に設定することが可能です。

## DHCPサーバー (ディーエイチシーピーサーバー)

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなどを、ネットワークに接続された機器へ自動的に割り当てる機能を持った機器です。

この機能を使用することにより、ワイヤレス接続したいコンピュータへ自動的にIPアドレス等を割り当てることが可能です。

## IEEE802.11b

ワイヤレスLANの国際標準規格のひとつで、無線周波数2.4GHzを使用し、最高11Mbpsの速度でワイヤレス通信が可能です。

## IPアドレス (アイピーアドレス)

TCP/IPでネットワークを構築する際に、各機器ごとに番号を割り当てる必要があります。この番号のことをIPアドレスと呼びます。

IPアドレスは同一のネットワーク内で重複しないように割り当てる必要があります。

## JPEG

Joint Photographic Experts Group の略です。広く一般に使用されている画像ファイルの保存形式の1つです。

## LAN (Local Area Network : ラン)

比較的狭い範囲で構築したネットワークのことです。

## MACアドレス (Media Access Control Address : マックアドレス)

ネットワーク機器1台1台に割り当てられた固有の番号です。

機器製造メーカーから出荷される際に割り当てられ、他の機器と重複することはありません。

## SS ID (Service Set Identification : エスエス アイディー)

複数のワイヤレスLAN機器をグループ化するためのID (識別子) です。

お互いに通信したい機器同士に同じSS IDを設定する必要があります。

使用できる文字は、半角英数文字32文字以内で、アルファベットは大文字、小文字も区別されます。

## TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol : ティーシーピー/アイビー)

インターネットやLANで使用されている標準のプロトコルです。

## TIFF

Tagged Image File Format の略です。デジタルカメラなどで採用されている画像ファイルの保存形式の1つです。本ソフトウェアではRGB形式の無圧縮方式のみサポートしています。

## VQ

Vector Quantization の略です。画像ファイルの保存形式の1つです。画像圧縮方式「JPEG」と比較して、高画質を保ったまま圧縮が可能です。「Slide Manager」の「圧縮設定」で「圧縮する」を選択すると、VQフォーマットでスライドが保存されます。

## WEP (Wired Equivalent Privacy : ウェップ)

ワイヤレス通信を行う際に、データを暗号化する方法です。64ビットまたは128ビットの共通鍵を使用します。

## アクセスポイント

インフラストラクチャモードでの通信時に、通信の中継を行う機器です。ワイヤレスLAN機器同士の通信の中継を行ったり、ワイヤレスLAN機器と有線LAN機器との通信の中継を行います。

## アドホックモード

ワイヤレス通信方式のひとつです。アクセスポイントを経由せず、ワイヤレスLAN PCカードを挿入した機器同士で、直接データのやり取りを行う場合に使用します。

## インフラストラクチャモード

ワイヤレス通信方式のひとつです。有線LANに接続された機器とワイヤレスLANに接続された機器との間で、データのやり取りを行う場合に使用します。

## ゲートウェイ

異なるネットワーク間の通信の中継を行う装置です。

## 最大割当て数

DHCPサーバーがIPアドレスを最大何個まで自動で割当ててるかの個数です。

## サブネットマスク

TCP/IPネットワークで使用されるパラメータのひとつで、IPアドレスをネットワークアドレスとホストアドレスに分離する際に使用されます。

## チャンネル

IEEE802.11bに準拠したワイヤレスLAN機器は、1～14のワイヤレスチャンネルの中から1つを指定して通信を行います。(本機では、1～11チャンネルを選択可能です。使用可能なチャンネルは、国や地域によって異なります。)異なるネットワークで同一のチャンネルを使用しても通信は可能ですが、通信速度が低下する場合があります。通常は別のチャンネルを使用することを推奨します。

# さくいん

## 【アルファベット・数字】

BMP	34,42,64
DHCPサーバー	24
Image Transfer	2,28
IPアドレス	24,39
JPEG	34,42,64
MACアドレス	39
Network Selector	2,18
Slide Manager	2,42
SS ID	24
TCP/IP	20,24
TIFF	34,42,65
Virtual Printer	2,53
VQ	34,42,65
WEP	24

## 【あ】

圧縮設定	43
アンインストール	16
暗号化(WEP)	24
暗号キー	24
一括表示	41
インストール	5
オプション	30,40

## 【か】

画質	30,39
機種と解像度	43
クイック接続	20
ゲートウェイ	24

## 【さ】

再生	44
最大割当て数	22,24
サブネットマスク	24
サムネイル表示エリア	45

自動検索	41
新規登録	23
スライドショーを作成	42
スライドショーファイル	45
送信開始/停止キー	32,40
送信先	30,39

## 【た】

チャンネル	24
通信モード	24
登録	24

## 【は】

非表示スライド	48
表示モード	41
プレビューエリア	45
プロジェクター名	39
プロジェクターを検索	39
プロパティエリア	45
プロファイル	20
ページ送りのタイミング	44

## 【ま】

無線LAN	24
-------	----

## 【ら】

リピート再生	44
--------	----

## 【わ】

ワイプダウン	41
ワンショットキー	33,41

● 製品についてのお問い合わせは、

お客様相談センター

東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**

西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

〈受付時間〉 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は、

[63ページ](#)記載の「お客様ご相談窓口のご案内」をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

# シャープ株式会社

本 社  
AVシステム事業本部

〒545-8522  
〒329-2193

大阪市阿倍野区長池町22番22号  
栃木県矢板市早川町174番地